

魚崎小だより

2023年臨時号

神戸市立魚崎小学校

電話 411-6196

令和5年度全国学力・学習状況調査結果報告

令和5年4月18日(火)に、全国の小学校6年生を対象とした「令和5年度全国学力・学習状況調査」が実施され、その結果が文部科学省から届きました。本年度は、国語・算数が実施されました。

そこで、その結果をもとに、普段の子供たちの学習や生活の様子なども参考にしながら、今後の改善策を検討してまいりましたのでご報告させていただきます。児童一人ひとりの結果につきましては、先日お子様を通じてお渡ししています。今後とも本校教育へのご理解をお願い致します。

【学校長】

本校(6年生)の分析結果(教科)

【国語】

教科全体としてはおおむね良好でした。

- 「知識及び技能」に関する問題に関しては、おおむね良好でしたが、「文章の種類と特徴についての理解」に関する問題に若干の課題が見られました。
- 漢字の書き取りを求める問題に対して課題が若干見られました。
- 「話す・聞く能力」「読む能力」「書く能力」に関してはおおむね良好でした。
- 「書く能力」の「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く」に関して課題が見られました。
- 「読む能力」の「読み取ったことから自分の考えをまとめる」問題に関して課題が見られました。

【算数】

教科全体としてはおおむね良好でしたが、算数が得意・不得意な児童の二極化が見られました。

- 「知識及び技能」に関する問題に関しては、概ね良好でした。
- 「思考力・判断力・表現力」に関してはおおむね良好でした。
- 「比例の係数を用いて知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する」問題は全国平均と比べ、とても高い正答率が見られました。
- 「分配法則を用いた加法と乗法を混同した計算」の問題について、課題が見られました。

改善策

【国語】

- 漢字を確実に習得できるよう、各学年で発達段階に考慮しながら継続した指導を続けることで学力を積み上げていきます。「新出漢字の学習(漢字ドリル)、タブレットドリル、反復練習(百字帳やおけいこ帳・宿題)、確認(小テスト)」により、漢字の定着を図ります。
- 各学年において自分の考えが相手に伝わりやすく表現できるよう、読みと書きの学習を継続します。ノートに自分の考えをまとめて書く活動を積極的に取り入れたり、友達と交流したりすることで、子供たちが自信をもって自己表現できる姿を目指します。

【算数】

- 算数の授業では、課題を捉え、自立解決に取り組み、対話的な学習を通して課題解決することで学習を深めていきます。
- 答えを求める過程を図に表したり具体物を操作したりして、計算の仕組みについて理解する力を身につけます。
- 授業の中でこれまでに習ったことを活用して問題を解く機会を増やし、定着を図ります。

児童質問紙について

【結果】

児童の生活や意識で、特徴ある項目を紹介します

○良好な傾向が見られた項目

- 多くの児童が、普段の生活の中で幸せな気持ちになることがあると回答しています。
- 多くの児童が、困りごとや不安があるときに先生や大人の人にいつでも相談できています。

●やや課題が見られた項目

- 自分の良いところを先生に認められていると感じている児童が少ない。
- 「毎日同じ時間に寝ている」児童が少ない。
- 5年生までに受けた授業でICT機器を使った頻度について、「ほぼ毎日使った」または「月1回以上」と答えた児童が少ない。

改善に向けて

本校では、困ったときに周りの大人の人に相談できる児童がとても多く、ご家庭でお子様との関わりを大切にされていることがうかがえました。毎日楽しく学校生活が送れるよう、職員一同、引き続き子供たちを見守ります。

「自分の良いところを先生に認められていると感じている児童が少ない」という結果を重くとらえ、教職員は多方面から児童と関わり、一人ひとりの良いところを見つけ伝えていきます。そうすることで、より児童と信頼関係を築いていきます。道徳の授業及びすべての教育活動の中で、温かい心や思いやりの心を育めるよう、心掛けて指導します。また、なりたい自分になれるよう、自己肯定感や自己有用感を育み、将来に向けての夢や希望をもつよう働きかけをしていきたいと考えています。

一方、生活面では就寝時間のばらつきが見られます。学校では様々な場面で規則正しい生活の大切さを伝えていきます。中には、スマートフォンやタブレットなどの情報機器を長時間利用しているために、就寝時間が遅くなっている児童もいるようです。利用についてご家庭でしっかりとルールを決めて頂くことで生活リズムを整え、より健康的な生活を送れるようお願い致します。

また、学習における ICT 機器の有効活用については学校全体で系統立てた計画のもとに指導します。

今後も児童の健全な育成を目指すために、家庭・地域・学校が一体となって、児童を見守り支えていかなければと考えています。引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力をお願い致します。